

タイにおける長期低排出発展戦略への国立環境研究所 AIM チームの貢献

2021 年 11 月

国立環境研究所 AIM プロジェクトチームは、タイの「長期低排出発展戦略」策定に向けた支援を行ってきましたが、今般、タイ政府が国連気候変動枠組条約に提出した長期戦略に、AIM プロジェクトチームが現地研究機関とともに開発したモデルによる分析結果が掲載されました。当チームの研究活動がタイ国の脱炭素社会の構築に貢献いたしました。

タイ政府は、パリ協定において締約国に策定・提出が求められている「長期低排出発展戦略」(※1)を 2021 年 10 月 30 日に国連気候変動枠組条約事務局へ提出しました。

国立環境研究所の AIM プロジェクトチーム(※2)では、従前からタイのタンマサート大学シリントーン国際工学部とともに、タイ国の温室効果ガス排出削減を評価するモデルを開発してきました。タイ政府内における「長期低排出発展戦略」の検討段階においても、タンマサート大学シリントーン国際工学部が行ってきた長期対策の分析について支援をしてきました。そして、その分析結果が本年 10 月に提出された「長期低排出発展戦略」に採用されました。「長期戦略」の本文の中にも、今回適用された AIM モデルに関する説明などが示されています(※3)。

※1 Thailand Mid-century, Long-term Low Greenhouse Gas Emission Development Strategy
<https://unfccc.int/process/the-paris-agreement/long-term-strategies>

※2 アジア太平洋統合評価モデル(AIM): 国立環境研究所が京都大学、みずほ R&T らとの共同研究により、アジア太平洋地域諸国の複数の研究所からの協力を得つつ、開発を行っている気候変動問題に関する統合評価モデル
https://www-iam.nies.go.jp/aim/index_j.html

※3 タイ「長期低排出発展戦略」(=※1)における AIM モデルに関する記載

- ・ 本文 30～33 頁「3.1 Methodology of Long-term Low Emission Development」本文及び Figure3-2～3-4、Table3-1

(参考) これまでの AIM プロジェクトのタイ NDC・長期戦略策定に対する明示的な貢献

- ・ タイ 2030 年までの排出量分析: 第3回国別報告書(P60)

<https://unfccc.int/documents/181765>